

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社
住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F
電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682
作成 2004年 5月31日
改訂 年 月 日

整理番号：

製品名 PEROXYDON K-90

物質の特定 単一製品・混合物の区別
：混合物

化学名 : [1]ポリビニルピロリドン
[2]過酸化水素

含有量 : [1] 80～92%
[2] 8～20%

化学式 : [1] (C₆H₉NO)_x
[2] H₂O₂

官報公示整理番号：化審法・安衛法
： [1] (6)-1007、(6)-1048
[2] (1)-419

CAS No. : [1] 9003-39-8
[2] 7722-84-1

国連分類：クラス 4.2 国連番号：3088

P R T R 法：非該当

安衛法通知対象物質：該当

危険有害性の分類 分類の名称：分類基準に該当しない
危険性：可燃性の粉体
有害性：眼に薬症を起こす。皮膚に不可逆的な損傷を与える。
飲み込むと口や胃に薬症を起こす。
吸入すると呼吸器を腐食する。
環境影響：

応急措置

眼に入った場合：直ちに多量な清浄な水で15分以上洗浄し、刺激が残るようであれば、医師の手当を受ける。
コンタクトレンズはすぐ取り外す。

皮膚に触れた場合：直ちに多量な水及び石鹼で洗い流す
症状が現れるようなら、医師の手当を受ける。
汚染した衣服類は着替える。

吸入した場合：吸入したときは、新鮮な空気のある場所に移し、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合：吐かせてはいけない。ゆっくり1～2杯の水又は

牛乳を飲ませる。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

火災時の措置

消火方法：

- (1) 一般火災と同様の消火方法をとる。
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素等が発生する恐れがあるので注意を要する。
 - (2) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。
- 消火剤：噴霧水

漏出時の措置

- (1) 発火源を取り除き、粉塵が飛散しないように、掃き集めて回収する。
- (2) 水で洗い流す場合は、環境汚染の原因となる可能性があるため、排水系などへの流出しないようにする。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：(1) できるだけ粉塵の発生を抑え、眼や皮膚への接触を避け、吸入しないようにする。
- (2) 作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。
 - (3) 粉塵爆発の可能性があるため設備は静電気を除去するため接地する。
 - (4) 酸、アルカリ、金属類、強酸化剤及び還元剤との接触をさける。
- 保管：(1) 直射日光を避け、乾燥した涼しい場所に保管し、使用しない時は容器は密閉して保管する。

暴露防止措置

管理濃度：なし

許容濃度：日本産業衛生学会勧告値 (2003 年版)

時間荷重平均：未設定

粉塵の場合(第3種粉塵)	吸入性粉塵	2 mg/m ³
	総粉塵	8 mg/m ³

ACGIH(2003)勧告値

時間加重平均(TWA)：未設定

粉塵の場合(一般粉塵) TLV-TWA

	吸入性粉塵	3 mg/m ³
	総粉塵	10 mg/m ³

過酸化水素 TLV-TWA	1 ppm、	1.4 mg/m ³
---------------	--------	-----------------------

設備対策：粉塵の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具：保護手袋、保護マスク、保護衣等

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

物理/化学的性質

外観	：	白色粉末
密度	：	データなし
沸点	：	決定できず
融点	：	決定できず
蒸気圧	：	決定できず
蒸気比重	：	-
溶解度	：	水に可溶
揮発分	：	データなし

その他 : pH = 6 ~ 7 (1% 溶液)

危険性情報 (安定性、反応性)

引火点 : 不適用
発火点 : データなし
爆発範囲 : データなし
反応性 : 一般的取扱い、貯蔵の条件では安定。
酸、アルカリ、金属類、還元剤、有機化学物質、
可燃物及び金属塩類との接触を避ける。
自己反応性 : 特になし

熱分解すると毒性の蒸気 CO, CO₂, NO_x が放出される。

有害性情報¹⁾

刺激性 : 皮膚 ウサギ 腐食性あり(固体のまま 24hr 被覆)
感作性 : データなし
急性毒性 : 経口 LD₅₀ 5,000 mg/kg 以上(25% w/v 白鉱油懸濁液)
亜急性、慢性毒性 : データなし
発がん性 : データなし
変異原性 : データなし
催奇形性 : データなし
代謝・排泄 : データなし

環境影響情報

生分解性 : 決定できず
生態影響 : 環境に悪影響を与えるデータなし

廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 輸送前に容器が密封されているか、又は液やガスの漏れがないかを確認する。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

主な適用法規

消防法 : 指定可燃物 合成樹脂類(指定数量 3,000 kg)
毒劇法 : 劇物(過酸化水素 6% 以下のものを除く)
安衛法 : 施行令 別表 1 危険物(酸化性のもの)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常取り扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さるようお願い申し上げます。

参考文献

- 1) ISP Safety Data Sheet 10/14/2003